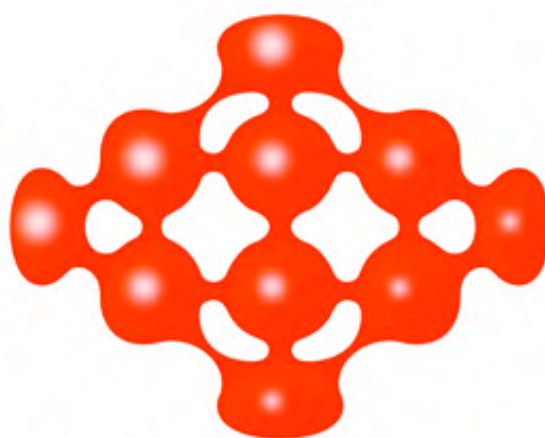


SGP400W

ユーザーWeb マニュアル



SYNCLAYER
MAKING POTENTIAL A REALITY

MAKING POTENTIAL A REALITY



本章について

目的

XGS-PON(10-gigabit-capable Symmetric Passive Optical Network)端末の SGP400W(以下、本製品と略す)は、ホームユーザー向けに設計された屋内向け光ネットワーク端末(ONT)です。本書では、本製品の Web 画面へのログイン方法および、各設定表示画面、使用方法について説明します。

マークの表記

本書で使用するマークは、以下のように定義されています。

マーク	説明
 注意事項	それを回避しなければ、機器の損傷、データの喪失、パフォーマンスの低下、予期しない結果につながることを示しています。
 注記	重要な情報、ヒントへの注意を促すことを示しています。

目次

本章について.....	i
1 管理画面へのログイン方法	4
2 Web ページのリファレンス.....	13
2.1 ステータス.....	14
2.1.1 WAN 情報.....	14
2.1.2 WLAN 情報.....	14
2.1.3 Eth ポート情報.....	15
2.1.4 DHCP 情報.....	15
2.1.5 ユーザーデバイス情報.....	16
2.2 LAN	17
2.2.1 LAN ホスト設定.....	17
2.2.2 DHCP サーバ設定.....	17
2.2.3 DHCP スタティック IP 設定.....	19
2.3 IPv6	20
2.3.1 LAN アドレス設定.....	20
2.3.2 DHCPv6 スタティック IP 設定.....	21
2.3.3 DHCPv6 情報.....	22
2.4 WLAN.....	23
2.4.1 バンドステアリング.....	23
2.4.2 2.4G 基本ネットワーク設定.....	23
2.4.3 2.4G 詳細ネットワーク設定.....	26
2.4.4 5G 基本ネットワーク設定.....	27
2.4.5 5G 詳細ネットワーク設定.....	30
2.5 セキュリティ.....	32
2.5.1 IPv4 フィルタリング機能.....	32
2.5.2 MAC フィルタリング設定.....	33
2.5.3 WLAN MAC フィルタリング設定.....	34
2.5.4 URL フィルタリング設定.....	35
2.5.5 DoS 設定.....	36
2.5.6 IPv6 ファイアウォール設定.....	36

2.5.7 IPv6 フィルタリング機能.....	37
2.6 転送ルール.....	39
2.6.1 DMZ 設定.....	39
2.6.2 ポートマッピング設定.....	40
2.6.3 ポートトリガ設定.....	41
2.7 ネットワークアプリ.....	43
2.7.1 USB アプリケーション.....	43
2.7.2 ホーム共有.....	44
2.7.3 メディア共有.....	45
2.7.4 ALG 設定.....	46
2.7.5 UPnP 設定.....	46
2.7.6 ARP 設定.....	47
2.7.7 DDNS 設定.....	47
2.7.8 DNS 設定.....	48
2.8 システムツール.....	49
2.8.1 リポート.....	49
2.8.2 設定ファイル.....	49
2.8.3 デフォルト設定の復元.....	50
2.8.4 保守.....	50
2.8.5 ログ.....	51
2.8.6 時間設定.....	51
2.8.7 拡張電力管理.....	52
2.8.8 ログインパスワードの変更.....	53
2.8.9 インジケータステータスの管理.....	53
2.8.10 ご利用上の注意.....	54
A 頭字語および略語.....	56


1 管理画面へのログイン方法

本章では、お客様 PC から Web ページを介して本製品の管理画面にログインするため手順について説明します。

はじめに

管理画面へのログインに必要な設定情報は、[表 1-1](#) 初期設定情報一覧をご確認ください。

表 1-1 初期設定情報一覧

項目	説明
本製品のユーザー名とパスワード	デフォルト設定: ユーザー名 : admin パスワード : admin  注記 <ul style="list-style-type: none">• Web ページにログインしてから 5 分間何も操作が実行されないと、セッションタイムアウトで自動的にログアウトされます。• 3 回連続でパスワードを間違えて入力した場合、システムはロックされます。ロックは 1 分後に自動的に解除されます。• 初期のユーザー名とパスワードを使用して Web ページからログイン後、パスワードを変更してください。• 複数の PC から同時にログインすることはできません。
本製品の LAN IP アドレスとサブネットマスク	デフォルト設定: IP アドレス: 192.168.1.1 サブネットマスク: 255.255.255.0

項目	説明
PC の IP アドレスとサブネットマスク	<p>PC の ETH ポート設定を、本製品に接続したときに IP アドレスを自動的に取得する設定にすることで、PC が本製品の LAN IP アドレスと同じサブネット内の IP アドレスを取得できます。</p> <p>例： IP アドレス: 192.168.1.2 サブネットマスク: 255.255.255.0</p>

手順

ステップ 1 付属の LAN ケーブルを使用して、本製品の LAN1-3、10GLAN のいずれかのポートに PC を接続します。

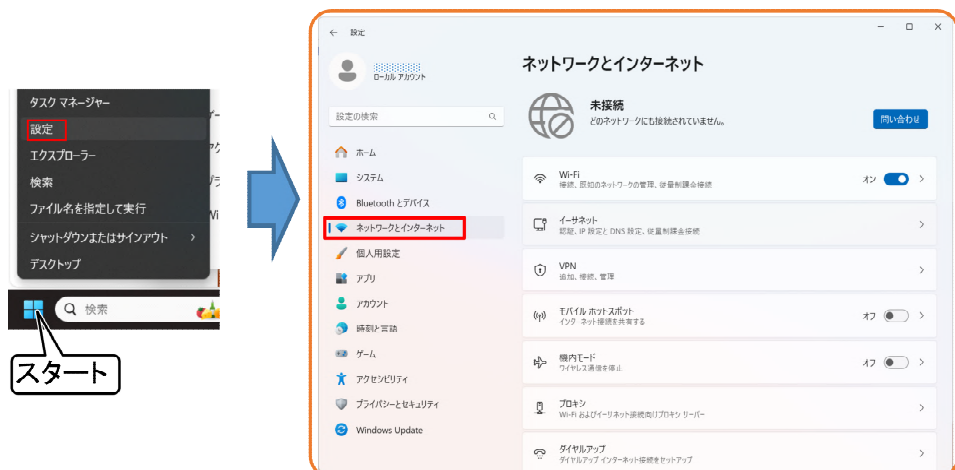
ステップ 2 PC で自動的に IP アドレスを取得します。また、PC の IP アドレスが本製品の管理用 IP アドレスと同じサブネット内に属していることを確認します。

本書では、PC で自動的に IP アドレスを取得する方法について、Windows 11、Windows 10、Mac OS X 10.8.2 の OS 別に説明しています。

- Windows 11 の場合

1. PC の「スタート」ボタン上で右クリックして「設定」を選択し、「ネットワークとインターネット」を選択すると、[図 1-1](#) に示すような画面が表示されます。

図 1-1 「ネットワークとインターネット」ウィンドウ



2. 「イーサネット」を選択して、「IP 割り当て」が「自動(DHCP)」になっている場合は設定を編集する必要はありません。それ以外の場合は、「編集」ボタンを押してから「自動(DHCP)」を選択して保存します。

図 1-2 「イーサネット」ウィンドウ



図 1-3 編集する場合



- Windows 10 の場合



1. OS にログインした後、「スタート」ボタン(デスクトップの左下隅の  ボタン)を選択し、「コントロール パネル」を選択すると、 に示すような「コントロール パネル」ウィンドウが表示されます。

図 1-4 「コントロール パネル」ウィンドウ




2. 「ネットワークとインターネット」の下の「ネットワークの状態とタスクの表示」を選択します。 に示すような「ネットワークと共有センター」ウィンドウが表示されます。

図 1-5 「ネットワークと共有センター」ウィンドウ




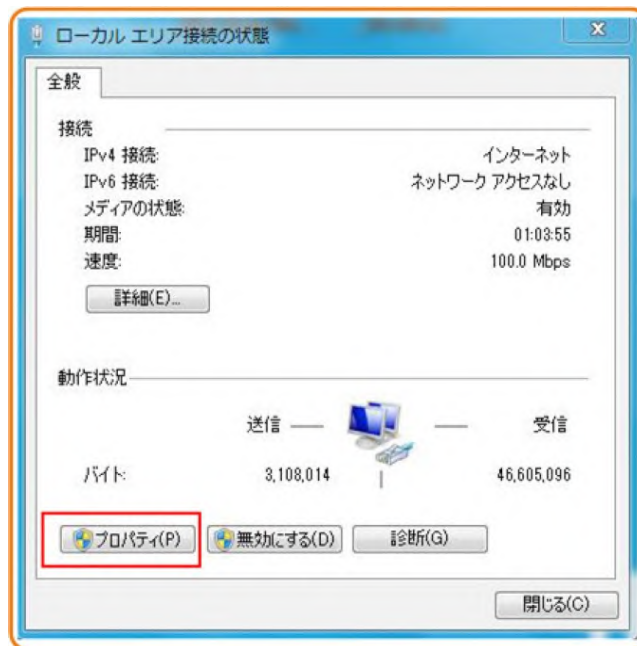
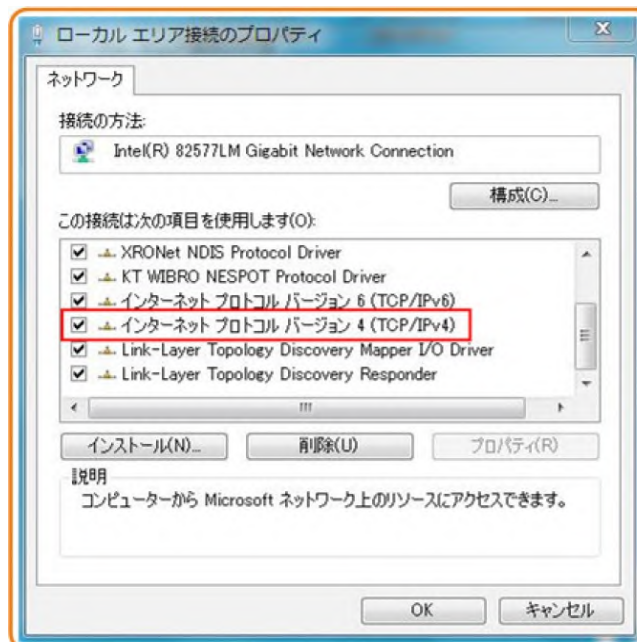
3. 「アクティブなネットワークの表示」エリアの「ローカル エリア接続」を選択します。 に示すような「ローカル エリア接続の状態」ダイアログボックスが表示されます。

図 1-6 「ローカル エリア接続の状態」ダイアログボックス



4. 「プロパティ」を選択すると、図 1-7 のような「ローカル エリア接続のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

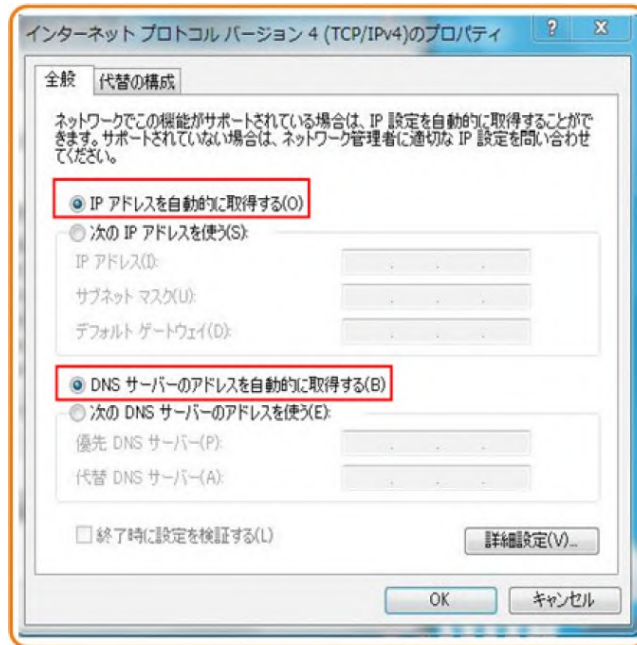
図 1-7 「ローカル エリア接続のプロパティ」ダイアログボックス



5. 「ネットワーク」タブを選択して、「この接続は次の項目を使用します」リストボックス内の「インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)」をダブルクリックします。
図 1-8 のような「インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

6. 「全般」タブを選択して、図 1-8 に示すような「IP アドレスを自動的に取得する」と「DNS サーバのアドレスを自動的に取得する」を選択します。

図 1-8 「インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)のプロパティ」ダイアログボックス



7. 「OK」をクリックして設定を完了して、「ローカルエリア接続の状態」ダイアログボックスに戻ります。
8. 「OK」をクリックして設定を完了します。

- Mac OS X 10.8.2 の場合
1. OS にログインした後、デスクトップ下部の「システム環境設定」を選択します。図 1-9 と図 1-10 に示すような「システム環境設定」ウィンドウが表示されます。

図 1-9 「システム環境設定」ウィンドウ

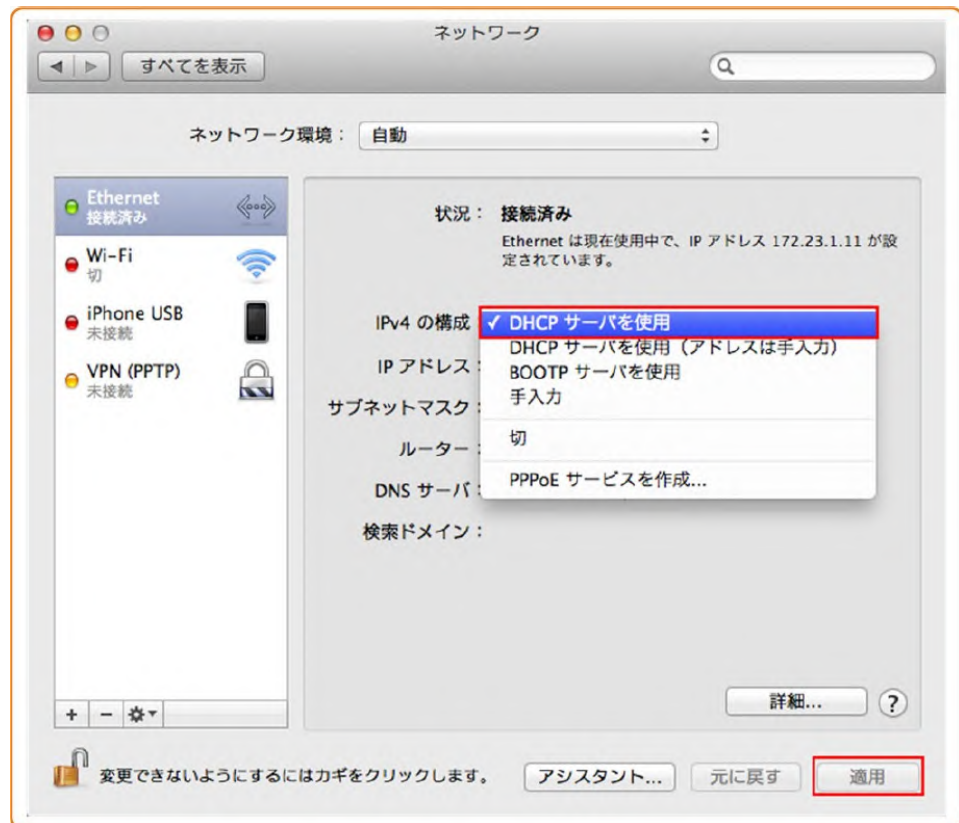


図 1-10 「システム環境設定」ウィンドウ



2. 「インターネットとワイヤレス」の「ネットワーク」を選択します。図 1-11 に示すような「ネットワーク」ダイアログボックスが表示されます。
3. 図 1-11 に示すように「IPv4 の構成」メニューから「DHCP サーバを使用」を選択し、「適用」をクリックして設定を完了します。

図 1-11 「ネットワーク」ダイアログボックス



ステップ 3 Web ページにログインします。

1. Web ブラウザのアドレスバーに本製品の管理用 URL または IP アドレスを入力して、Enter キーを押します。ログイン画面が表示されますので、言語を選択し、ユーザー名とパスワードを入力して、「ログイン」をクリックします。なお、デフォルトの管理用 URL(IP アドレスは 192.168.1.1)、ユーザー名(ID)、パスワード(PW)は本体ラベルに記載されています。

図 1-12 「ログイン画面」



2. 以下の画面で新しいパスワードを設定してください。

システムツール > ログインパスワードの変更

このページでは現在のログインユーザーのパスワードを変更し、セキュリティを強化したり覚えやすいパスワードを設定したりできます。

ログインパスワードがデフォルトのままです。すぐに変更してください。

ユーザー名:	admin	1.パスワードは少なくとも8文字で設定してください。
元のパスワード:	<input type="password"/>	2.パスワードは次の条件を少なくとも2つ組み合わせで設定してください。 数字、大文字、小文字
新しいパスワード:	<input type="password"/>	特殊文字 (~!@#\$%^&*()-_+=\ []{};:'"<,.>/?)
パスワードの確認:	<input type="password"/>	3.パスワードにはユーザー名やユーザー名の順序を逆にしたものは使用できません。

2 Web ページのリファレンス

本章について

本章では、本製品の Web ページに関連する各種パラメータについて説明します。
本製品の Web ページを表示するには、管理画面へログインする必要があります。
管理画面へのログインについては、[1 管理画面へのログイン方法](#)をご参照ください。

2.1 ステータス

本製品のステータスに関連する Web 照会ページについて説明します。

2.2 LAN

本製品の LAN 側に関連する Web 設定ページについて説明します。

2.3 IPv6

本製品の IPv6 に関連する Web 設定ページについて説明します。

2.4 WLAN

本製品の WLAN に関連する Web 設定ページについて説明します。

2.5 セキュリティ

本製品のセキュリティに関連する Web 設定ページについて説明します。

2.6 転送ルール

本製品の転送ルールに関連する Web 設定ページについて説明します。

2.7 ネットワークアプリ

本製品のネットワークアプリに関連する Web 設定ページについて説明します。

2.8 システムツール

本製品のシステムツールに関連する Web 設定ページについて説明します。

2.1 ステータス

本製品のステータスに関連する Web 照会ページについて説明します。

2.1.1 WAN 情報

上部のメニューより「ステータス」タブを選択し、左側のナビゲーションツリーから「WAN 情報」を選択します。右側のメイン表示部分に、次の図のような Web ページが表示されます。

図 2-1 WAN 情報

ステータス > WAN 情報

このページでは、WANポートの接続と回線の状態を確認することができます。

IPv4情報

WAN名	状態	IPアドレス	接続
1_TR069_INTERNET_R_VID_100	切断	--	AlwaysOn

IPv6情報

WAN名	状態	プレフィックス	接続
1_TR069_INTERNET_R_VID_100	切断	--	AlwaysOn

MAP情報

ドメイン名	状態	伝送モード	エンドユーザーIPv6プレフィックス
map-e.1	Enabled	MAP-E	--



注記

WAN リストのレコードをクリックすると、詳細が表示されます。

2.1.2 WLAN 情報

上部のメニューより「ステータス」タブを選択し、左側のナビゲーションツリーから「WLAN 情報」を選択します。右側のメイン表示部分に、次の図のような Web ページが表示されます。

図 2-2 WLAN 情報



注記

2.4GHz 帯と 5GHz 帯でそれぞれ表示することができます。

2.1.3 Eth ポート情報

上部のメニューより「ステータス」タブを選択し、左側のナビゲーションツリーから「Eth ポート情報」を選択します。右側のメイン表示部分に、次の図のような Web ページが表示されます。

図 2-3 Eth ポート情報



2.1.4 DHCP 情報

上部のメニューより「ステータス」タブを選択し、左側のナビゲーションツリーから「DHCP 情報」を選択します。右側のメイン表示部分に、次の図のような Web ページが表示されます。

図 2-4 DHCP 情報

ステータス > DHCP 情報

このページでは、IPアドレスの総数、イーサネットIPアドレスの数、Wi-Fi IPアドレスの数、残りのIPアドレスの数、ホスト名、IPアドレス、MACアドレス、残りリリース時間、デバイスの種類など、DHCPの基本情報を照会することができます。

IPアドレス総数:	253			
イーサネットIPアドレス:	0			
Wi-Fi IPアドレス:	0			
残りのIPアドレス:	253			
ホスト名	IPアドレス	MACアドレス	残りリリース時間	デバイスの種類
--	--	--	--	--

2.1.5 ユーザーデバイス情報

上部のメニューより「ステータス」タブを選択し、左側のナビゲーションツリーから「ユーザーデバイス情報」を選択します。右側のメイン表示部分に、次の図のような Web ページが表示されます。

図 2-5 ユーザーデバイス情報

ステータス > ユーザーデバイス情報

このページでは、ホスト名、デバイスの種類、IPアドレス、MACアドレス、デバイスの状態など、ユーザー端末についての情報を照会することができます。

ホスト名	ポートID	デバイスの種類	IPアドレス	MACアドレス	デバイスの状態	アプリケーション
--	LAN2	--	192.168.1.100	84:a9:...	オンライン	詳細 アクセスの共有 ネットワークアプリ

<< < 1/1 > >> ページ 移動

2.2 LAN

本製品の LAN 側に関連する Web 設定ページについて説明します。

2.2.1 LAN ホスト設定

1. 上部のメニューより「LAN」タブを選択し、左側のナビゲーションツリーから「LANホスト設定」を選択します。右側のメイン表示部分に、次の図のようなWebページが表示されます。

図 2-6 LAN ホスト設定

LAN > LANホスト設定

このページではLAN側管理のIPアドレスの設定ができます。LAN側管理IPアドレスを変更した後、DHCPサーバ上のプライマリアドレスプールが必ず新しいLAN IPアドレスと同一のサブネット上にあるようにしてください。それ以外の状況では、DHCPサーバが正確に機能しません。

プライマリアドレス

プライマリIPアドレス: 192.168.1.1

プライマリアドレスのサブネットマスク: 255.255.255.0

適用 キャンセル



注記

設定を変更すると、本製品の LAN IP アドレスが変わるため、新しい IP アドレスでログインし直す必要があります。

2. 設定を変更する場合は、各パラメータを変更後に「適用」をクリックします。
次の表で、LAN ホスト設定のパラメータについて説明します。

表 2-1 LAN ホスト設定のパラメータ

パラメータ	説明
プライマリ IP アドレス	本製品の LAN IP アドレスを指定します。
プライマリアドレスのサブネットマスク	本製品のサブネットマスクを指定します。

2.2.2 DHCP サーバ設定

1. 上部のメニューより「LAN」タブを選択し、左側のナビゲーションツリーから「DHCP サーバ設定」を選択します。右側のメイン表示部分に、次の図のような Web ページが表示されます。

図 2-7 DHCP サーバ設定

LAN > DHCPサーバ設定

このページでは、LAN側デバイスのDHCPサーバのパラメータを設定し、IPアドレスを取得することができます。

プライマリアドレスプール

プライマリDHCPサーバを有効にする:	<input checked="" type="checkbox"/>
LANホストIPアドレス:	192.168.1.1
サブネットマスク:	255.255.255.0
IPアドレスの開始:	<input type="text" value="192.168.1.2"/> (LANホストのIPアドレスと同一のサブネット上にある必要があります。)
IPアドレスの終了:	<input type="text" value="192.168.1.254"/>
リース時間:	<input type="text" value="1"/> [日]
プライマリDNSサーバ:	<input type="text"/>
セカンダリDNSサーバ:	<input type="text"/>

- 設定を変更する場合は、各パラメータを変更後に「適用」をクリックします。次の表で、DHCP サーバ設定のパラメータについて説明します。

表 2-2 DHCP サーバ設定のパラメータ

パラメータ	説明
プライマリ DHCP サーバを有効にする	DHCP サーバを有効にするかどうかを指定します。
LAN ホスト IP アドレス	DHCP サーバの IP アドレス(LAN IP アドレスと同じ)を示しています。
サブネットマスク	DHCP サーバのサブネットマスクを示しています。
IP アドレスの開始	DHCP サーバの IP アドレスプールの開始 IP アドレスを指定します。この開始 IP アドレスは、LAN ホスト設定ページで設定した IP アドレスと同一のサブネットである必要があります。
IP アドレスの終了	DHCP サーバの IP アドレスプールの終了 IP アドレスを指定します。この終了 IP アドレスは、LAN ホスト設定ページで設定した IP アドレスと同一のサブネットである必要があります。
リース時間	DHCP サーバの IP アドレスプールのリース時間を指定します。分、時間、日、週単位で指定できます。
プライマリ DNS サーバ	プライマリ DNS サーバの IP アドレスを指定します。
セカンダリ DNS サーバ	セカンダリ DNS サーバの IP アドレスを指定します。

2.2.3 DHCP スタティック IP 設定

1. 上部のメニューより「LAN」タブを選択し、左側のナビゲーションツリーから「DHCP スタティック IP 設定」を選択します。右側のメイン表示部分で「新規作成」をクリックすると、次の図のような Web ページが表示されます。

図 2-8 DHCP スタティック IP 設定

LAN > DHCPスタティックIP設定

このページでは、指定のMACアドレスにDHCPを介して割り当てられた予約済みIPアドレスを設定できます。

新規作成 削除

	MACアドレス	IPアドレス
MACアドレス:	<input type="text" value="(XX:XX:XX:XX:XX:XX)"/>	
IPアドレス:	<input type="text"/>	

適用 キャンセル

2. 設定を変更する場合は、各パラメータを変更後に「適用」をクリックします。次の表で、DHCP スタティック IP 設定のパラメータについて説明します。

表 2-3 DHCP スタティック IP 設定のパラメータ

パラメータ	説明
MAC アドレス	MAC アドレスを指定します。
IP アドレス	IP アドレスを指定します。

2.3 IPv6

本製品の IPv6 に関連する Web 設定ページについて説明します。

2.3.1 LAN アドレス設定

1. 上部のメニューより「IPv6」タブを選択し、左側のナビゲーションツリーから「LAN アドレス設定」を選択します。右側のメイン表示部分に、次の図のような Web ページが表示されます。

図 2-9 LAN アドレス設定

2. 設定を変更する場合は、各パラメータを変更後に「適用」をクリックします。
次の表で、LAN アドレス設定のパラメータについて説明します。

表 2-4 LAN アドレス設定パラメータ

パラメータ	説明
LAN 側の DNS ソース	IPv6 の LAN 側の DNS ソースを選択します。
経路広告を有効にする	RA 伝送機能を有効にするかどうかを指定します。
DHCPv6 サーバを有効にする	DHCPv6 サーバ機能を有効にするかどうかを指定します。
リソース割り当てモード	このモードでは、ONT がプレフィックスとアドレスを接続先 PC に割り当て、「自動」、「手動」と「手動(厳格な)」が選択可能です。

パラメータ	説明
アドレス/プレフィックスの割り当て方法	<p>アドレス/プレフィックスの割り当て方法を指定します。これは、DHCPv6 またはステートレスアドレス自動設定 (SLAAC) に設定できます。SLAAC に設定した場合は、「ULA モード」を設定する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • DHCPv6: LAN 側のホストが DHCPv6 モードでアドレスを取得する • SLAAC: LAN 側のホストが ND モードでアドレスを取得する
その他の情報の割り当て方法	<p>その他の情報の割り当て方法を指定します。その他の情報とは、DNS パケットなど、パケットのペイロードにおける IP アドレスを指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • DHCPv6: アドレスが DHCPv6 モードで取得する • SLAAC: アドレスが ND モードで取得する
ULA モード	<p>一意のローカル IPv6 アドレス (ULA) 情報を指定します。ULA アドレスは、プレフィックス fd から始まります。予約済み IPv4 アドレスと同様に、予約済み IPv6 アドレスはプライベートネットワーク向けに使用されます。これはプロトコルの整合性を確保するためのものです。</p> <p>このパラメータは、手動、自動、無効、無効をお勧めします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 無効: この機能を無効にする • 自動: アドレスを自動割り当てにする • 手動: アドレスの手動設定、プレフィックス、プレフィックス長、優先耐用期間、有効耐用期間を設定する

2.3.2 DHCPv6 スタティック IP 設定

1. 上部のメニューより「IPv6」タブを選択し、左側のナビゲーションツリーから「DHCPv6 スタティック IP 設定」を選択します。右側のメイン表示部分で「新規作成」をクリックすると、次の図のような Web ページが表示されます。

図 2-10 DHCPv6 スタティック IP 設定

2. 設定を変更する場合は、各パラメータを変更後に「適用」をクリックします。
次の表で、DHCP スタティック IP 設定のパラメータについて説明します。

表 2-5 DHCP スタティック IP 設定のパラメータ

パラメータ	説明
MAC アドレス	MAC アドレスを指定します。
IP アドレス	IPv6 アドレスを指定します。

2.3.3 DHCPv6 情報

上部のメニューより「IPv6」タブを選択し、左側のナビゲーションツリーから「DHCPv6 情報」を選択します。右側のメイン表示部分に、次の図のような Web ページが表示されます。このページでは、DHCPv6 の基本情報を照会できます。

図 2-11 DHCPv6 情報

IPv6 > DHCPv6 情報		
このページでは、DUID、IPv6アドレス、プレフィックス、残りリース時間など、DHCPv6の基本情報を照会することができます。		
IPアドレス総数:	256	
残りのIPアドレス:	256	
DUID	IPv6アドレス/プレフィックス	残りリース時間
--	--	--

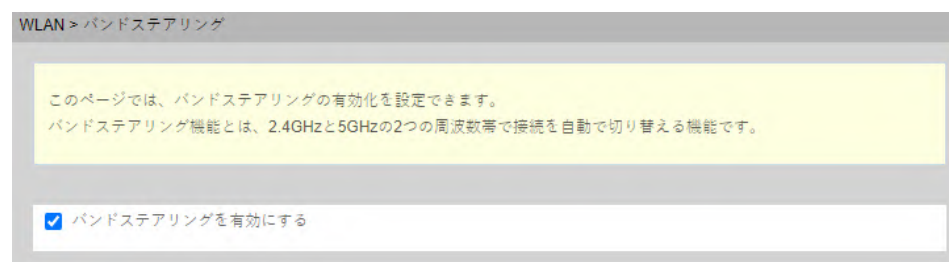
2.4 WLAN

本製品の WLAN に関連する Web 設定ページについて説明します。

2.4.1 バンドステアリング

上部のメニューより「WLAN」タブを選択し、左側のナビゲーションツリーから「バンドステアリング」を選択します。右側のメイン表示部分に、次の図のような Web ページが表示されます。このページでは、バンドステアリングを有効にするかどうかを指定します。

図 2-12 バンドステアリング設定



2.4.2 2.4G 基本ネットワーク設定

1. 上部のメニューより「WLAN」タブを選択し、左側のナビゲーションツリーから「2.4G 基本ネットワーク設定」を選択します。右側のメイン表示部分に、次の図のような Web ページが表示されます。

図 2-13 2.4G 基本ネットワーク設定

WLAN > 2.4G基本ネットワーク設定

このページでは、2.4GHz帯ワイヤレスネットワークの基本パラメータの設定ができます。2.4GHz帯ワイヤレスネットワークが無効化されている場合、このページは空白です。

警告:

1. ワイヤレスネットワークパラメータを変更するとワイヤレスネットワークサービスが一時的に中断される可能性があります。
2. セキュリティ保護のため、WPA2または WPA/WPA2認証モードを使用することをお勧めします。

WLANの有効化:

新規作成 削除

ネットワーク種別	SSIDインデックス	SSID名	SSIDの状態	接続デバイス数	SSIDのプロードキャスト	セキュリティ設定
<input type="checkbox"/> プライマリネットワーク	1	XXXXXXXXXX	有効	64	有効	設定済み

SSID設定詳細

SSID名: *(1-32文字)

SSIDの有効化:

接続デバイス数: *(1-64)

SSIDのプロードキャスト:

WMMの有効化:

認証モード: ▼

暗号化モード: ▼

WPA PreSharedKey: 非表示 *(8-63文字または64文字(16進文字))

WPAグループキー更新間隔: *(600~86400秒)

WPSを有効にする:

WPSモード: ▼

PBC:

簡単Wi-Fi接続




注記

「2.4G 基本ネットワーク設定」で WLAN が有効化されていない場合は設定できません。

2. 設定を変更する場合は、各パラメータを変更後に「適用」をクリックします。次の表で、2.4G 基本ネットワーク設定のパラメータについて説明します。

表 2-6 2.4G 基本ネットワーク設定のパラメータ

パラメータ	説明
WLAN の有効化	WLAN を有効にするかどうかを指定します。以下のパラメータは、WLAN が有効になっている場合にのみ設定できます。

パラメータ	説明
SSID 名	WLAN の名前を指定します。これは、各種 WLAN を区別するために使用されます。タブ文字無しで、最大 32 文字から構成されます。
SSID の有効化	接続を有効にするかどうかを指定します。
接続デバイス数	接続可能なデバイス数を指定します。1～64 の範囲で指定します。
SSID のブロードキャスト	SSID のブロードキャストを有効にするかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> 有効にした場合、接続デバイス側で本製品の SSID 名を検索できるようになります。 無効にした場合、接続デバイス側で本製品の SSID 名を検索できなくなります。
WMM の有効化	Wi-Fi マルチメディアを有効にするかどうかを指定します。
認証モード	WLAN の認証モードを指定します。このモードは、オープン、共有、WPA PreSharedKey、WPA2 PreSharedKey、WPA/WPA2 PreSharedKey、WPA3 SAE、WPA2/WPA3 PSKandSAE、WPA エンタープライズ、WPA2 エンタープライズ、WPA/WPA2 エンタープライズから指定できます。
暗号化モード	WLAN の暗号化モードを指定します。暗号化モードは、認証モードによって異なります。 <ul style="list-style-type: none"> 認証モードがオープンに設定されている場合、暗号化モードはなしまたは WEP に設定できます。 認証モードが共有に設定されている場合、暗号化モードは WEP に設定できます。 認証モードが WPA PreSharedKey、WPA2PreSharedKey、WPA/WPA2 PreSharedKey、WPA エンタープライズ、WPA2 エンタープライズ、WPA/WPA2 エンタープライズに設定されている場合、暗号化モードは AES、TKIP、TKIP&AES に設定できます。 認証モードが WPA3 SAE、WPA2/WPA3 PSKandSAE に設定されている場合、暗号化モードは AES に設定できます。
WPA PreSharedKey	WPA 共有キーを指定します。有効な値は、8～63 の ASCII コードまたは 64 の 16 進数字から構成されます。
WPA グループキー更新間隔	WPA グループキーを生成する間隔を指定します。単位は秒です。有効な値の範囲は 600～86400 です。
WPS を有効にする	WPS を有効にするかどうかを指定します。

パラメータ	説明
WPS モード	WPS モードを指定します。PBC、PIN、AP-PIN から指定できます。
PBC	WPS モードが PBC に設定されている場合、「WPS を起動」ボタンで PBC モードを開始することができます。
簡単 Wi-Fi 接続	スマートフォンなどのカメラ機能で読み込むことによって、簡単に Wi-Fi 接続できる二次元コードです。SSID と WPA PreSharedKey を変更すると、連動して更新されません。

2.4.3 2.4G 詳細ネットワーク設定

1. 上部のメニューより「WLAN」タブを選択し、左側のナビゲーションツリーから「2.4G 詳細ネットワーク設定」を選択します。右側のメイン表示部分に、次の図のような Web ページが表示されます。

図 2-14 2.4G 詳細ネットワーク設定

WLAN > 2.4G詳細ネットワーク設定

このページでは、2.4GHz帯ワイヤレスネットワークの拡張パラメータの設定ができます。2.4GHz帯ワイヤレスネットワークが無効化されている場合、このページは空白です。

警告:
ワイヤレスネットワークパラメータを変更するとワイヤレスネットワークサービスが一時的に中断される可能性があります。
802.11axモードが有効になっているときにWi-Fiが見つからないか接続されていない場合は、ワイヤレスネットワークカードドライバをアップグレードしてください。

詳細設定

送信出力:	100%	▼
チャンネル:	自動	▼
チャンネル幅:	20 MHz	▼
モード:	802.11b/g/n/ax	▼
エアタイムフェアネス (ATF) :	<input type="checkbox"/>	
DTIM間隔:	1	(1~255、デフォルト: 1)
ビーコン間隔:	100	(20~1000ミリ秒、デフォルト: 100)
RTS閾値:	2346	(1~2346バイト、デフォルト: 2346)

適用 キャンセル



注記

「2.4G 基本ネットワーク設定」で WLAN が有効化されていない場合は設定できません。

2. 設定を変更する場合は、各パラメータを変更後に「適用」をクリックします。次の表で、2.4G 詳細ネットワーク設定のパラメータについて説明します。

表 2-7 2.4G 詳細ネットワーク設定のパラメータ

パラメータ	説明
送信出力	無線信号の送信光出力を指定します。これは、20%、40%、60%、80%、100%に設定できます。値が大きくなればなるほど、無線信号のカバレッジが向上します。
チャンネル	WLAN のチャンネルを指定します。チャンネルは、自動設定と手動設定があります。
チャンネル幅	WLAN のチャンネル幅を指定します。これは、Auto 20/40 MHz、20 MHz、40 MHz に設定できます。
モード	通信規格を指定します。これは、802.11b、802.11g、802.11n、802.11b/g、802.11b/g/n、802.11b/g/n/ax に設定できます。
エアタイムフェアネス (ATF)	エアタイムフェアネス機能を有効にするには、このオプションを選択します。
DTIM 間隔	DTIM の送信間隔を指定します。値の範囲は 1~255 で、デフォルト値は 1 です。
ビーコン間隔	ビーコンの送信間隔を指定します。値の範囲は 20ms~1000ms で、デフォルト値は 100ms です。
RTS 閾値	送信要求 (RTS) の閾値を指定します。値の範囲は 1 バイト~2346 バイトで、デフォルト値は 2346 バイトです。

2.4.4 5G 基本ネットワーク設定

1. 上部のメニューより「WLAN」タブを選択し、左側のナビゲーションツリーから「5G 基本ネットワーク設定」を選択します。右側のメイン表示部分に、次の図のような Web ページが表示されます。

図 2-15 5G 基本ネットワーク設定

WLAN > 5G基本ネットワーク設定

このページでは、5GHz帯ワイヤレスネットワークの基本パラメータの設定ができます。5GHz帯ワイヤレスネットワークが無効化されている場合、このページは空白です。

警告:

- ワイヤレスネットワークパラメータを変更するとワイヤレスネットワークサービスが一時的に中断される可能性があります。
- セキュリティ保護のため、WPA2またはWPA/WPA2認証モードを使用することをお勧めします。

WLANの有効化: 新規作成 削除

ネットワーク種別	SSIDインデックス	SSID名	SSIDの状態	接続デバイス数	SSIDのプロードキャスト	セキュリティ設定
<input type="checkbox"/> プライマリネットワーク	5		有効	64	有効	設定済み

SSID設定詳細

SSID名: * (1-32文字)

SSIDの有効化:

接続デバイス数: *(1-64)

SSIDのプロードキャスト:

WMMの有効化:

認証モード:

暗号化モード:

WPA PreSharedKey: 非表示 *(8-63文字または64文字(16進文字))

WPAグループキー更新間隔: *(600~86400秒)

WPSを有効にする:

WPSモード:

PBC:

簡単Wi-Fi接続




注記

「5G 基本ネットワーク設定」で WLAN が有効化されていない場合は設定できません。

- 設定を変更する場合は、各パラメータを変更後に「適用」をクリックします。次の表で、5G 基本ネットワーク設定のパラメータについて説明します。

表 2-8 5G 基本ネットワーク設定のパラメータ

パラメータ	説明
WLAN の有効化	WLAN を有効にするかどうかを指定します。以下のパラメータは、WLAN が有効になっている場合にのみ設定できます。

パラメータ	説明
SSID 名	WLAN の名前を指定します。これは、各種 WLAN を区別するために使用されます。タブ文字無しで、最大 32 文字から構成されます。
SSID の有効化	接続を有効にするかどうかを指定します。
接続デバイス数	接続可能なデバイス数を指定します。1～64 の範囲で指定します。
SSID のブロードキャスト	SSID のブロードキャストを有効にするかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> 有効にした場合、接続デバイス側で本製品の SSID 名を検索できるようになります。 無効にした場合、接続デバイス側で本製品の SSID 名を検索できなくなります。
WMM の有効化	Wi-Fi マルチメディアを有効にするかどうかを指定します。
認証モード	WLAN の認証モードを指定します。このモードは、オープン、共有、WPA PreSharedKey、WPA2 PreSharedKey、WPA/WPA2 PreSharedKey、WPA3 SAE、WPA2/WPA3 PSKandSAE、WPA エンタープライズ、WPA2 エンタープライズ、WPA/WPA2 エンタープライズから指定できます。
暗号化モード	WLAN の暗号化モードを指定します。暗号化モードは、認証モードによって異なります。 <ul style="list-style-type: none"> 認証モードがオープンに設定されている場合、暗号化モードはなしまたは WEP に設定できます。 認証モードが共有に設定されている場合、暗号化モードは WEP に設定できます。 認証モードが WPA PreSharedKey、WPA2PreSharedKey、WPA/WPA2 PreSharedKey、WPA エンタープライズ、WPA2 エンタープライズ、WPA/WPA2 エンタープライズに設定されている場合、暗号化モードは AES、TKIP、TKIP&AES に設定できます。 認証モードが WPA3 SAE、WPA2/WPA3 PSKandSAE に設定されている場合、暗号化モードは AES に設定できます。
WPA PreSharedKey	WPA 共有キーを指定します。有効な値は、8～63 の ASCII コードまたは 64 の 16 進数字から構成されます。
WPA グループキー更新間隔	WPA グループキーを生成する間隔を指定します。単位は秒です。有効な値の範囲は 600～86400 です。
WPS を有効にする	WPS を有効にするかどうかを指定します。

パラメータ	説明
WPS モード	WPS モードを指定します。PBC、PIN、AP-PIN から指定できます。
PBC	WPS モードが PBC に設定されている場合、「WPS を起動」ボタンで PBC モードを開始することができます。
簡単 Wi-Fi 接続	スマートフォンなどのカメラ機能で読み込むことによって、簡単に Wi-Fi 接続できる二次元コードです。SSID と WPA PreSharedKey を変更すると、連動して更新されません。

2.4.5 5G 詳細ネットワーク設定

1. 上部のメニューより「WLAN」タブを選択し、左側のナビゲーションツリーから「5G 詳細ネットワーク設定」を選択します。右側のメイン表示部分に、次の図のような Web ページが表示されます。

図 2-16 5G 詳細ネットワーク設定



注記

「5G 基本ネットワーク設定」で WLAN が有効化されていない場合は設定できません。

2. 設定を変更する場合は、各パラメータを変更後に「適用」をクリックします。次の表で、5G 詳細ネットワーク設定のパラメータについて説明します。

表 2-9 5G 詳細ネットワーク設定のパラメータ

パラメータ	説明
送信出力	無線信号の送信光出力を指定します。これは、20%、40%、60%、80%、100%に設定できます。値が大きくなればなるほど、無線信号のカバレッジが向上します。
チャンネル	WLAN のチャンネルを指定します。チャンネルは、自動設定と手動設定があります。自動設定の場合、以下のチャンネルごとの範囲指定が可能です。 【W52】 36ch, 40ch, 44ch, 48ch 【W53】 52ch, 56ch, 60ch, 64ch 【W56】 100ch, 104ch, 108ch, 112ch, 116ch, 120ch, 124ch, 128ch, 132ch, 136ch, 140ch, 144ch
チャンネル幅	WLAN のチャンネル幅を指定します。これは、Auto 20/40 MHz、20 MHz、40 MHz、Auto 20/40/80 MHz、Auto 20/40/80/160 MHz に設定できます。
モード	通信規格を指定します。これは、802.11a、802.11n、802.11a/n、802.11a/n/ac、802.11a/n/ac/ax に設定できます。
エアタイムフェアネス (ATF)	エアタイムフェアネス機能を有効にするには、このオプションを選択します。
DTIM 間隔	DTIM の送信間隔を指定します。値の範囲は 1~255 で、デフォルト値は 1 です。
ビーコン間隔	ビーコン送信間隔を指定します。値の範囲は 20ms~1000ms で、デフォルト値は 100ms です。
RTS 閾値	送信要求 (RTS) の閾値を指定します。値の範囲は 1 バイト~2346 バイトで、デフォルト値は 2346 バイトです。

2.5 セキュリティ

本製品のセキュリティに関連する Web 設定ページについて説明します。

2.5.1 IPv4 フィルタリング機能

1. 上部のメニューより「セキュリティ」タブを選択後、左側のナビゲーションツリーから「IPv4 フィルタリング機能」を選択します。右側のメイン表示部分で、「フィルタリング方法」を選択してから「新規作成」をクリックすると、次の図のような Web ページが表示されます。

図 2-17 IPv4 フィルタリング機能

2. 設定を変更する場合は、各パラメータを変更後に「適用」をクリックします。次の表で、IPv4 フィルタリング機能のパラメータについて説明します。

表 2-10 IPv4 フィルタリング機能のパラメータ

パラメータ	説明
有効 IP フィルタ	IPv4 フィルタリング機能を有効にするかどうかを指定します。
フィルタリング方法	フィルタリング方法を、以下から1つ指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • ブラックリスト: フィルタリングルールを満たすデータを通過させないようにする • ホワイトリスト: フィルタリングルールを満たすデータを通過させるようにする • ハイブリッド: 方向がアップストリーム(上り方向)また

パラメータ	説明
	はダウンストリーム(下り方向)に基づいて、フィルタリングルールを満たすデータを通過させる、または通過させないようにする
ルール名	ルールの名前を指定します。このパラメータは必須であり、数字と文字のみが使用できます。ルール名は一意である必要があります。
プロトコル	プロトコルのタイプを指定します。TCP/UDP、TCP、UDP、ICMP、全てを指定できます。
方向	フィルタリングルールを適用する方向を指定します。ただし、フィルタリング方法がブラックリストまたはホワイトリストの場合は双方向のみとなります。
LAN 側の開始 IP アドレス	LAN 側の開始 IP アドレスを指定します。
LAN 側の終了 IP アドレス	LAN 側の終了 IP アドレスを指定します。
WAN 側 IP アドレス	WAN 側の IP アドレスを指定します。



注記

LAN 側 IP アドレス、WAN 側 IP アドレスを空欄に設定すると全てのアドレスが対象となります。

2.5.2 MAC フィルタリング設定

3. 上部のメニューより「セキュリティ」タブを選択後、左側のナビゲーションツリーから「MAC フィルタリング設定」を選択します。右側のメイン表示部分で、「フィルタリング方法」を選択してから「新規作成」をクリックすると、次の図のような Web ページが表示されます。

図 2-18 MAC フィルタリング設定

4. 設定を変更する場合は、各パラメータを変更後に「適用」をクリックします。

次の表で、MAC フィルタリング設定のパラメータについて説明します。

表 2-11 MAC フィルタリング設定のパラメータ

パラメータ	説明
MAC フィルタを有効にする	有線 LAN の MAC フィルタリング機能を有効にするかどうかを指定します。
フィルタリング方法	フィルタリング方法を、以下から1つ指定します。 <ul style="list-style-type: none"> ブラックリスト: フィルタリングルールを満たすデータを通過させないようにする ホワイトリスト: フィルタリングルールを満たすデータを通過させるようにする
デバイス名	デバイスの名前を指定します。なお、本製品に接続したデバイスは、右側のリストから選択できるようになります。
送信元 MAC アドレス	送信元 MAC アドレスを指定します。

2.5.3 WLAN MAC フィルタリング設定

1. 上部のメニューより「セキュリティ」タブを選択し、左側のナビゲーションツリーから「WLAN MAC フィルタリング設定」を選択します。右側のメイン表示部分で、「フィルタリング方法」を選択してから「新規作成」をクリックすると、次の図のような Web ページが表示されます。

図 2-19 WLAN MAC フィルタリング設定

2. 設定を変更する場合は、各パラメータを変更後に「適用」をクリックします。
次の表で、WLAN MAC フィルタリング設定のパラメータについて説明します。

表 2-12 WLAN MAC フィルタリング設定のパラメータ

パラメータ	説明
WLAN MAC フィルタを有効にする	WLAN の MAC フィルタリング機能を有効にするかどうかを指定します。
フィルタリング方法	フィルタリング方法を、以下から1つ指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • ブラックリスト: フィルタリングルールを満たすデータを通過させないようにする • ホワイトリスト: フィルタリングルールを満たすデータを通過させるようにする
SSID インデックス	WLAN の SSID インデックスを指定します。
デバイス名	デバイスの名前を指定します。なお、本製品に接続したデバイスは、右側のリストから選択できるようになります。
送信元 MAC アドレス	フィルタリングルールを適用する送信元 MAC アドレスを指定します。

2.5.4 URL フィルタリング設定

1. 上部のメニューより「セキュリティ」タブを選択し、左側のナビゲーションツリーから「URL フィルタリング設定」を選択します。右側のメイン表示部分で、「フィルタリング方法」を選択してから「新規作成」をクリックすると、次の図のような Web ページが表示されます。

図 2-20 URL フィルタリング設定

セキュリティ > URL フィルタリング設定

このページではURLフィルタリングパラメータの設定ができます。

URLフィルタを有効にする:

フィルタリング方法: ブラックリスト ▾

新規作成 削除

URLアドレス
--

URLアドレス:

適用 キャンセル

2. 設定を変更する場合は、各パラメータを変更後に「適用」をクリックします。次の表で、URL フィルタリング設定のパラメータについて説明します。

表 2-13 URL フィルタリング設定のパラメータ

パラメータ	説明
URL フィルタを有効にする	URL フィルタリング機能を有効にするかどうかを指定します。
フィルタリング方法	フィルタリング方法を、以下から1つ指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • ブラックリスト: フィルタリングルールを満たすデータを通過させないようにする • ホホワイトリスト: フィルタリングルールを満たすデータを通過させるようにする
URL アドレス	フィルタリングルールを適用する URL を指定します。

2.5.5 DoS 設定

上部のメニューより「セキュリティ」タブを選択し、左側のナビゲーションツリーから「DoS 設定」を選択します。右側のメイン表示部分に、次の図のような Web ページが表示されます。このページでは、外部から受ける可能性のある様々な DoS 攻撃からの防止設定がありますが、本製品では基本的にデフォルト設定のままご利用ください。

図 2-21 DoS 設定



2.5.6 IPv6 ファイアウォール設定

上部のメニューより「セキュリティ」タブを選択し、左側のナビゲーションツリーから「IPv6 ファイアウォール設定」を選択します。右側のメイン表示部分に、次の図のような Web ページが表示されます。このページでは、IPv6 ファイアウォールを有効にするかどうかを指定します。

図 2-22 IPv6 ファイアウォール設定

2.5.7 IPv6 フィルタリング機能

1. 上部のメニューより「セキュリティ」タブを選択し、左側のナビゲーションツリーから「IPv6 フィルタリング設定」を選択します。右側のメイン表示部分で、「フィルタリング方法」を選択してから「新規作成」をクリックすると、次の図のような Web ページが表示されます。

図 2-23 IPv6 フィルタリング機能

ルール名	プロトコル	方向	LAN側IPアドレス	WAN側IPアドレス
ルール名:				
プロトコル:	全て			
方向:	双方向			
IPモード	IPプレフィック			
LAN側IPアドレス:				(IPv6アドレス/n 0 <= n <= 128)
WAN側IPアドレス:				(IPv6アドレス/n 0 <= n <= 128)

📖 注記

「IPv6 ファイアウォール設定」で IPv6 ファイアウォールが有効化されている場合に動作します。

2. 設定を変更する場合は、各パラメータを変更後に「適用」をクリックします。
次の表で、IPv6 フィルタリング機能のパラメータについて説明します。

表 2-14 IPv6 フィルタリング機能のパラメータ

パラメータ	説明
有効 IP フィルタ	IPv6 フィルタリング機能を有効にするかどうかを指定します。
フィルタリング方法	<p>フィルタリング方法を、以下から1つ指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ブラックリスト: フィルタリングルールを満たすデータを通過させないようにする • ホホワイトリスト: フィルタリングルールを満たすデータを通過させるようにする • ハイブリッド: 方向がアップストリーム(上り方向)またはダウンストリーム(下り方向)に基づいて、フィルタリングルールを満たすデータを通過させる、または通過させないようにする
ルール名	ルールの名前を指定します。このパラメータは必須であり、数字と文字のみが使用できます。ルール名は一意である必要があります。
プロトコル	プロトコルのタイプを指定します。TCP/UDP、TCP、UDP、ICMPv6、全てを指定できます。
方向	フィルタリングルールを適用する方向を指定します。ただし、フィルタリング方法がブラックリストまたはホワイトリストの場合は双方向のみとなります。
IP モード	IP プレフィックスまたは IP 範囲を指定します。
LAN 側 IP アドレス	LAN 側の開始 IP アドレスを指定します。
WAN 側 IP アドレス	WAN 側の IP アドレスを指定します。

2.6 転送ルール

本製品の転送ルールに関連する Web 設定ページについて説明します。

2.6.1 DMZ 設定

1. 上部のメニューより「**転送ルール**」タブを選択後、左側のナビゲーションツリーから「**DMZ 設定**」を選択します。右側のメイン表示部分で「**新規作成**」をクリックすると、下の図のような Web ページが表示されます。

図 2-24 DMZ 設定



注意事項

DMZ を設定すると、DMZ ホストのポートがインターネットに対して全てオープン状態になります。したがって、LAN 側のデバイスから外部にネットワークサービスを提供しない場合は、本機能を使用しないでください。

2. 設定を変更する場合は、各パラメータを変更後に「**適用**」をクリックします。

次の表で、DMZ 設定のパラメータについて説明します。

表 2-15 DMZ 設定のパラメータ

パラメータ	説明
DMZ を有効にする	DMZ を有効にするかどうかを指定します。
WAN 名	WAN インターフェースの名前を指定します。WAN インターフェースがポートマッピングテーブルにない場合、WAN 接続からのアプリケーション要求は、DMZ のホストに直接転送されます。

パラメータ	説明
ホストアドレス	DMZ ホストの IP アドレスを指定します。なお、本製品に接続したデバイスは、右側のリストから選択できるようになります。

2.6.2 ポートマッピング設定

1. 上部のメニューより「転送ルール」タブを選択し、左側のナビゲーションツリーから「ポートマッピング設定」を選択します。右側のメイン表示部分で「新規作成」をクリックすると、次の図のような Web ページが表示されます。

図 2-25 ポートマッピング設定

2. 設定を変更する場合は、各パラメータを変更後に「適用」をクリックします。

次の表で、ポートマッピング設定のパラメータについて説明します。

表 2-16 ポートマッピング設定のパラメータ

パラメータ	説明
種別	カスタム設定またはアプリケーションを指定します。アプリケーションを選択した場合、下のアプリケーションのドロップダウンリストが有効になります。

パラメータ	説明
アプリケーション	種別がアプリケーションの場合、サーバを指定します。
ポートマッピングを有効にする	ポートマッピングを有効にするかどうかを指定します。
マッピング名	ポートマッピングの名前を指定します。
WAN 名	WAN インターフェースの名前を指定します。
内部ホスト	内部ホストの IP アドレスを指定します。
外部送信元 IP アドレス	外部送信元の IP アドレスを指定します。
プロトコル	プロトコルの種類を指定します。 TCP、UDP、TCP/UDP を指定できます。
内部ポート番号	内部宛先ポート番号を指定します。
外部ポート番号	外部宛先ポート番号を指定します。
外部送信元ポート番号	外部送信元ポート番号を指定します。

2.6.3 ポートトリガ設定

1. 上部のメニューより「転送ルール」タブを選択し、左側のナビゲーションツリーから「ポートトリガ設定」を選択します。右側のメイン表示部分で「新規作成」をクリックすると、次の図のような Web ページが表示されます。

図 2-26 ポートトリガ設定

このページでは、インターネットにアクセスするためLAN側アプリケーションにより使用されるポートの範囲を設定することができます。ポートを自動で有効にすることもできます。
注: 既存の音声サービス用のポートはオープンポートの範囲に入れることはできません。本機能はMAP-Eモード時は正常に動作しない場合があります。

	WAN名	ポートトリガの有効化	トリガポート	オープンポート	トリガプロトコル	オープンプロトコル
ポートトリガを有効にする:		<input checked="" type="checkbox"/>				
WAN名:	1_TR069_INTERNET_R_VID_100					
トリガプロトコル:	TCP					
オープンプロトコル:	TCP					
開始トリガポート:						
終了トリガポート:						
開始オープンポート:						
終了オープンポート:						

適用 キャンセル

2. 設定を変更する場合は、各パラメータを変更後に「適用」をクリックします。

次の表で、ポートトリガ設定のパラメータについて説明します。

表 2-17 ポートトリガ設定のパラメータ

パラメータ	説明
ポートトリガを有効にする	ポートトリガを有効にするかどうかを指定します。
WAN 名	WAN インターフェースの名前を指定します。
トリガプロトコル	ポートトリガパケットのプロトコルの種類を指定します。 TCP、UDP、TCP/UDP を指定できます。
オープンプロトコル	オープンデータパケットのプロトコルの種類を指定します。
開始トリガポート	ポートトリガパケットの送信先開始ポートを指定します。
終了トリガポート	ポートトリガパケットの送信先終了ポートを指定します。
開始オープンポート	オープンパケットの送信先開始ポートを指定します。
終了オープンポート	オープンパケットの送信先終了ポートを指定します。

2.7 ネットワークアプリ

本製品のネットワークアプリに関連する Web 設定ページについて説明します。

2.7.1 USB アプリケーション

1. 上部のメニューより「ネットワークアプリ」タブを選択し、左側のナビゲーションツリーから「USB アプリケーション」を選択します。右側のメイン表示部分に、次の図のような Web ページが表示されます。

図 2-27 USB アプリケーション

ネットワークアプリ > USBアプリケーション

このページでは、ホームゲートウェイのストレージデバイスのファイルダウンロードのためにFTPクライアントを設定可能です。またリソース共有のためのFTPサーバを設定可能です。
FTPサーバ設定時は、LAN側またはWAN側のFTP機能を有効にして、文字コードとしてUTF-8を選択してください。
警告:
ファイルが損傷するおそれがあるため、使用中のUSBストレージデバイスを取り外したり、再度挿入したりしないでください。

FTPクライアント設定

FTP URL: ftp://
ポートID: 21
ユーザー名:
パスワード:
パス: *参照...
ダウンロード

ユーザー名	パスワード	ポートID	FTP URL	パス	ステータス
--	--	--	--	--	--

FTPサーバ設定

FTPサーバを有効にする:
ユーザー名: root
パスワード:
ポートID: 21
USBデバイス: USBデバイスなし
ルートパス:
適用 キャンセル

2. FTP クライアントとして使用する場合は、FTP クライアント設定の各パラメータを変更後に「ダウンロード」をクリックします。また、FTP サーバとして使用する場合は、FTP サーバ設定の各パラメータを変更後に「適用」をクリックします。

次の表で、USB アプリケーションのパラメータについて説明します。

表 2-18 USB アプリケーションのパラメータ

パラメータ	説明
FTP クライアント設定	
FTP URL	外部の FTP サーバのダウンロードファイルパスを指定します。
ポート ID	外部の FTP サーバのポート番号を指定します。デフォルトで 21 が設定されており、基本的に変更不要です。
ユーザー名	外部の FTP サーバに接続するためのユーザー名を指定します。
パスワード	外部の FTP サーバに接続するためのパスワードを指定します。
パス	USB デバイスパスを指定します。
FTP サーバ設定	
FTP サーバを有効にする	本製品の FTP サーバ機能を有効にするかどうかを指定します。
ユーザー名	本製品の FTP サーバ機能のユーザー名を指定します。
パスワード	本製品の FTP サーバ機能のパスワードを指定します。
ポート ID	本製品の FTP サーバ機能のポート番号を指定します。デフォルトで 21 が設定されており、基本的に変更不要です。
USB デバイス	USB デバイスを指定します。
ルートパス	USB デバイスの共有パスを指定します。

2.7.2 ホーム共有

1. 上部のメニューより「ネットワークアプリ」タブを選択し、左側のナビゲーションツリーから「ホーム共有」を選択します。右側のメイン表示部分に、次の図のような Web ページが表示されます。

図 2-28 ホーム共有

ネットワークアプリ > ホーム共有

このページではホームプリンタとストレージ共有を有効化できます。
ホームプリンタを有効にする前に、USBポート経由でプリンタをホームゲートウェイに接続してください。プリンタとホームゲートウェイは1つのIPアドレスを共有しています。プリンタをスキャンし、ドライブをインストール後、プリンタを使用できます。
警告:
ファイルが損傷するおそれがあるため、使用中のUSBストレージデバイスを取り外したり、再度挿入したりしないでください。

プリンタとストレージの共有を有効にする:

ホームプリンタ情報: --

共有認証を有効にする:

アカウント設定

新規作成 削除

ID	ユーザー名	状態	権限	共有パス
---	---	---	---	---

詳細

ユーザー名:

パスワード:

有効化:

権限: 読み取り専用 ▼

パス共有: 全てのパス パスの指定

適用 キャンセル

- 設定を変更する場合は、各パラメータを変更後に「適用」をクリックします。

2.7.3 メディア共有

- 上部のメニューより「ネットワークアプリ」タブを選択し、左側のナビゲーションツリーから「メディア共有」を選択します。右側のメイン表示部分に、次の図のような Web ページが表示されます。

図 2-29 メディア共有

ネットワークアプリ > メディア共有

メディア共有サービスではDLNA対応のデバイスでメディア情報を共有できます。例えば、PC、モバイル端末、電化製品で動画、音声、写真を共有することができます。このページでは共有サービススイッチを設定し、ディレクトリを共有できます。
警告:
ファイルが損傷するおそれがあるため、使用中のUSBストレージデバイスを取り外したり、再度挿入したりしないでください。

メディア共有を有効にする:

パス共有: 全てのパス パスの指定

適用 キャンセル

2. 設定を変更する場合は、各パラメータを変更後に「適用」をクリックします。

2.7.4 ALG 設定

1. 上部のメニューより「ネットワークアプリ」タブを選択し、左側のナビゲーションツリーから「ALG 設定」を選択します。右側のメイン表示部分に、次の図のような Web ページが表示されます。

図 2-30 ALG 設定

ネットワークアプリ > ALG設定	
このページでは各種サービスのALGを有効にできます。	
FTP ALGを有効にする:	<input checked="" type="checkbox"/>
TFTP ALGを有効にする:	<input checked="" type="checkbox"/>
H.323 ALGを有効にする:	<input checked="" type="checkbox"/>
SIP ALGを有効にする:	<input checked="" type="checkbox"/>
RTSP ALGを有効にする:	<input checked="" type="checkbox"/>
RTCP ALGを有効にする:	<input type="checkbox"/> ポート: <input type="text" value="0"/>
PPTP ALGを有効にする:	<input checked="" type="checkbox"/>
L2TP ALGを有効にする:	<input checked="" type="checkbox"/>
IPsec ALGを有効にする:	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="button" value="適用"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

2. 設定を変更する場合は、各パラメータを変更後に「適用」をクリックします。

2.7.5 UPnP 設定

1. 上部のメニューより「ネットワークアプリ」タブを選択し、左側のナビゲーションツリーから「UPnP 設定」を選択します。右側のメイン表示部分に、次の図のような Web ページが表示されます。

図 2-31 UPnP 設定

ネットワークアプリ > UPnP設定

このページではユニバーサルプラグアンドプレイ (UPnP)機能の有効化や無効化を設定し、複数種類のネットワークデバイスの自動検出を実施することができます。この機能が有効化されていると、デバイスはネットワークへのアクセス、IPアドレスの取得、データ転送、他のデバイスの検出、他のデバイスデータの取得を実施することができます。

UPnPを有効にする:

適用 キャンセル

No.	説明	外部ポート	内部ポート	プロトコル	IPアドレス	ステータス
--	--	--	--	--	--	--

<< < 0/0 > >> ページ 移動

2. 設定を変更する場合は、各パラメータを変更後に「適用」をクリックします。

2.7.6 ARP 設定

1. 上部のメニューより「ネットワークアプリ」タブを選択し、左側のナビゲーションツリーから「ARP 設定」を選択します。右側のメイン表示部分で「新規作成」をクリックすると、次の図のような Web ページが表示されます。

図 2-32 ARP 設定

ネットワークアプリ > ARP設定

このページでは、IPアドレスとMACアドレスなどのスタティックARPパラメータを設定することができます。

新規作成 削除

IPアドレス	MACアドレス	インターフェース
IPアドレス:	<input type="text"/>	---
MACアドレス:	<input type="text"/>	---
インターフェース:	<input type="text"/>	<input type="text"/>

適用 キャンセル

2. 設定を変更する場合は、各パラメータを変更後に「適用」をクリックします。

2.7.7 DDNS 設定

本機能については、本製品ではサポートしていません。

図 2-33 DDNS 設定(未サポート)

ネットワークアプリ > DDNS設定

動的なDNSサービスを取得するためには、動的なDNSサービスプロバイダのドメイン名を申請してホスト、ユーザー名、パスワードなどの設定情報を取得する必要があります。

新規作成 削除

WAN名	ステータス	サービスプロバイダ	ドメイン名
--	--	--	--

DDNS状態:

WAN名	ドメイン名	動作状態	最終更新時間	最終エラー原因
--	--	--	--	--

2.7.8 DNS 設定

1. 上部のメニューより「ネットワークアプリ」タブを選択し、左側のナビゲーションツリーから「DNS 設定」を選択します。右側のメイン表示部分に、次の図のような Web ページが表示されます。

図 2-34 DNS 設定

ネットワークアプリ > DNS設定

このページでは、DNSサーバ、スタティックドメイン名解決を設定できます。

DNS検索リスト設定

新規作成 削除

ドメイン名	WAN名	DNSサーバ
ドメイン名:		
WAN名:		
DNSサーバ:		

適用 キャンセル

スタティックDNS設定

新規作成 削除

ドメイン名	IPアドレス
ドメイン名:	
IPアドレス:	

適用 キャンセル

2. 設定を変更する場合は、各パラメータを変更後に「適用」をクリックします。

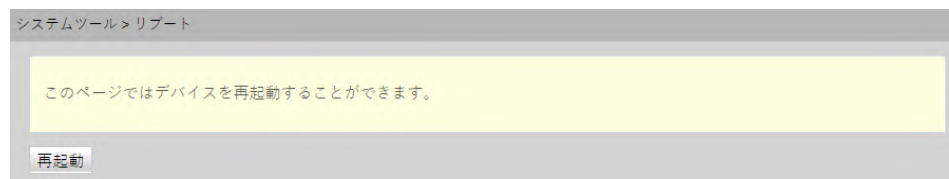
2.8 システムツール

本製品のシステムツールに関連する Web 設定ページについて説明します。

2.8.1 リブート

上部のメニューより「システムツール」タブを選択し、左側のナビゲーションツリーから「リブート」を選択します。右側のメイン表示部分に、次の図のような Web ページが表示されます。このページでは、「再起動」をクリックすると本製品が再起動します。

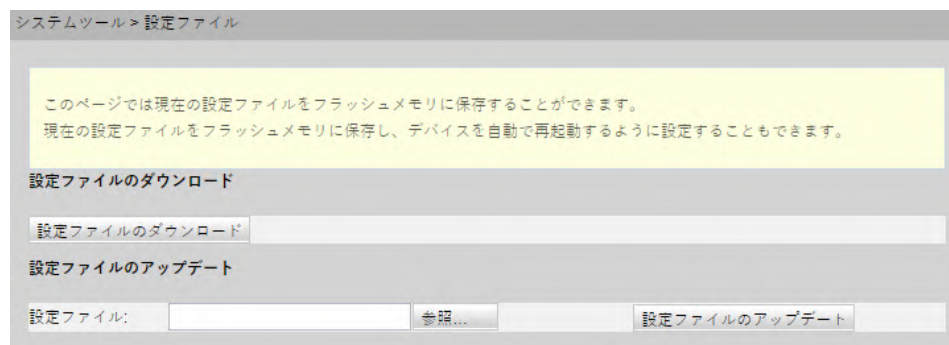
図 2-35 リブート



2.8.2 設定ファイル

上部のメニューより「システムツール」タブを選択し、左側のナビゲーションツリーから「設定ファイル」を選択します。右側のメイン表示部分に、次の図のような Web ページが表示されます。

図 2-36 設定ファイル



- 「設定ファイルのダウンロード」では、本製品の設定ファイルを PC のローカルディスクにバックアップできます。「設定ファイルのダウンロード」をクリックすると、ファイルをローカルディスクに保存します。
- 「設定ファイルのアップロード」では、本製品からバックアップした設定ファイルをアップロードできます。「参照」をクリックすると、アップロードする設定ファイルを選択できます。「設定ファイルのアップデート」をクリックすると、ファイルのアップロードを開始します。設定ファイルのアップロードに成功すると、本製品が自動的に再起動して、新しい設定が有効になります。

2.8.3 デフォルト設定の復元

上部のメニューより「システムツール」タブを選択し、左側のナビゲーションツリーから「デフォルト設定の復元」を選択します。右側のメイン表示部分に、次の図のような Web ページが表示されます。このページでは、「デフォルト」をクリックすると、本製品を工場出荷時のデフォルト設定に初期化します。

図 2-37 デフォルト設定の復元



注意事項

この操作を行う際は、サービス提供元へご確認ください。

2.8.4 保守

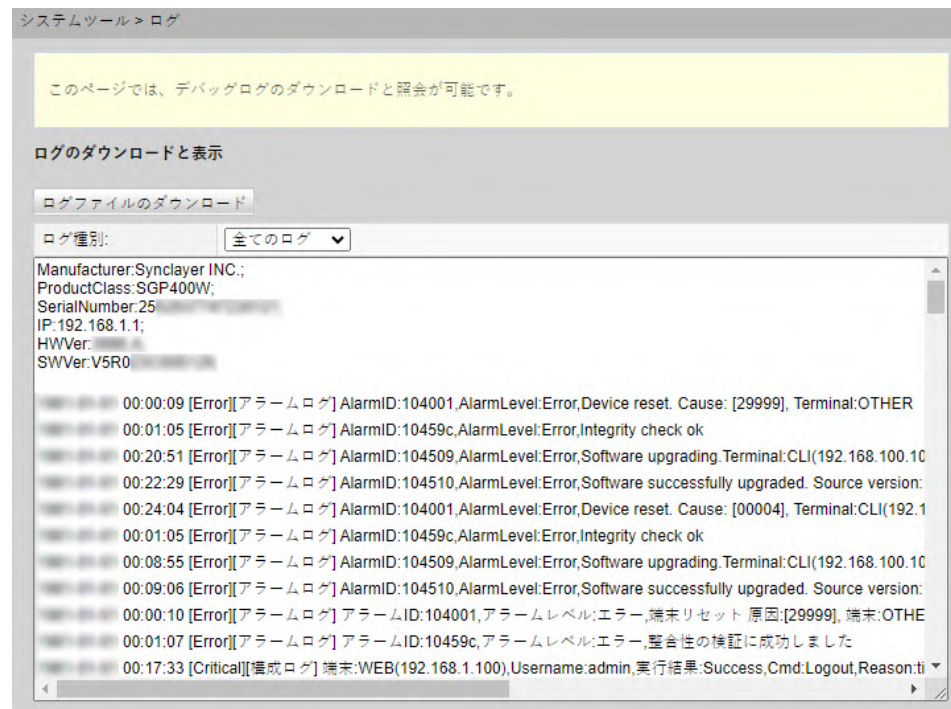
上部のメニューより「システムツール」タブを選択し、左側のナビゲーションツリーから「保守」を選択します。右側のメイン表示部分に、次の図のような Web ページが表示されます。このページでは、Ping やトレースルートなどのテストを実施することができます。

図 2-38 保守

2.8.5 ログ

上部のメニューより「システムツール」タブを選択し、左側のナビゲーションツリーから「ログ」を選択します。右側のメイン表示部分に、次の図のような Web ページが表示されます。

図 2-39 ログ



2.8.6 時間設定

1. 上部のメニューより「システムツール」タブを選択し、左側のナビゲーションツリーから「時間設定」を選択します。右側のメイン表示部分に、次の図のような Web ページが表示されます。

図 2-40 時間設定

2. 設定を変更する場合は、各パラメータを変更後に「適用」をクリックします。
 次の表で、時間設定のパラメータについて説明します。

表 2-19 時間設定のパラメータ

パラメータ	説明
ネットワーク時刻サーバを自動で同期する	ネットワーク時刻サーバ(SNTP サーバ)の自動同期を有効にするかどうかを指定します。
プライマリ SNTP サーバ	プライマリ SNTP サーバを指定します。
セカンダリ SNTP サーバ	セカンダリ SNTP サーバを指定します。
タイムゾーン	タイムゾーンを指定します。
時刻同期の時間	時刻同期の時間を指定します。

2.8.7 拡張電力管理

上部のメニューより「システムツール」タブを選択し、左側のナビゲーションツリーから「拡張電力管理」を選択します。右側のメイン表示部分に、次の図のような Web ページが表示されます。このページでは、省電力モードを有効にするかどうかを指定します。

図 2-41 拡張電力管理

2.8.8 ログインパスワードの変更

1. 上部のメニューより「システムツール」タブを選択し、左側のナビゲーションツリーから「ログインパスワードの変更」を選択します。右側のメイン表示部分に、次の図のような Web ページが表示されます。このページでは、本製品のログインパスワードを変更できます。

図 2-42 ログインパスワードの変更

システムツール > ログインパスワードの変更

このページでは現在のログインユーザーのパスワードを変更し、セキュリティを強化したり覚えやすいパスワードを設定したりできます。

ログインパスワードがデフォルトのままです。すぐに変更してください。

ユーザー名:	admin	1.パスワードは少なくとも8文字で設定してください。
元のパスワード:	<input type="password"/>	2.パスワードは次の条件を少なくとも2つ組み合わせて設定してください。 数字、大文字、小文字
新しいパスワード:	<input type="password"/>	特殊文字 (~!@#\$%^&*()-_+= [{}];:'<.>/?)。
パスワードの確認:	<input type="password"/>	3.パスワードにはユーザー名やユーザー名の順序を逆にしたものは使用できません。

適用 キャンセル



注記

Web ページへの初回ログイン後は、初期パスワードから変更してください。

2.8.9 インジケータステータスの管理

1. 上部のメニューより「システムツール」タブを選択し、左側のナビゲーションツリーから「インジケータステータスの管理」を選択します。右側のメイン表示部分に、次の図のような Web ページが表示されます。このページでは、本製品の LED 表示を OFF するかどうかを指定します。

図 2-43 インジケータステータスの管理

システムツール > インジケータステータスの管理

このページでデバイスのインジケータの切り替えを設定できます。[インジケータの切り替え]を[OFF]に設定している場合は、インジケータをOFFにする時間帯を設定できます。インジケータをOFFにする時間帯を指定しない場合は、常にインジケータがOFFになります。

インジケータ切り替え設定

インジケータの切り替え ON OFF

インジケータをOFFにする時間帯の設定

	開始時間	終了時間
---	---	---
インジケータOFFの時間帯	開始時間 <input type="text"/> : <input type="text"/>	終了時間 <input type="text"/> : <input type="text"/> (00:00-23:59)

新規作成 削除

適用 キャンセル



注記

「OFF」を選択すると、本製品の LED が全て OFF になります。

2. 設定を変更する場合は、各パラメータを変更後に「適用」をクリックします。

2.8.10 ご利用上の注意

上部のメニューより「システムツール」タブを選択し、左側のナビゲーションツリーから「ご利用上の注意」を選択します。右側のメイン表示部分に、次の図のような Web ページが表示されます。本製品を安全に使用するために、ご一読ください。

図 2-44 ご利用上の注意(危険項目)

システムツール > ご利用上の注意

危険

- 本製品は水や液体で濡らさないようにしてください。また、ケーブルの抜き差しは濡れた手で行わないでください。ケーブルの抜き差しは、必ず機器を停止して、電源を切ってから行ってください。
- 万が一、本製品が濡れたり、発煙や異常な音、異臭などが発生した場合は、ただちに本製品の使用を中止して、電源を切り、全てのケーブル（電源ケーブルやネットワークケーブルなど）を抜いてください。本製品に異常がある場合は、サービス提供元が指定するお問い合わせ先にご連絡ください。
- 本製品を火気の近く、または高温になる場所で使用しないようにしてください。本体やケーブルが破損して火災や感電の原因となる可能性があります。また、本製品は水周りまたは湿った場所のそばに置かないでください。
- 本製品を使用中に、あやまって落とすまい故障した場合には、電源を切って、電源ケーブル、イーサネットケーブル、ネットワークケーブルなど全てのケーブルを抜いてください。また、本製品をぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。
- 利用電圧は本製品の入力電圧の要件に適合している必要があります。また、付属の電源アダプタ以外は使用しないでください。使用すると本製品で異常が発生する可能性があります。危険です。
- 本製品の電源アダプタは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱、劣化する可能性があります。危険です。
- 感電またはその他の危険を回避するために、電源プラグは清潔で乾燥した状態を保ってください。
- 本製品は、横置き設置として設計されていますので、縦置きでの設置をしないでください。また、他の物をその上に重ね置きをしないでください。熱や歪みにより本製品が損傷する場合があります。また、放熱のため、機器の周囲に少なくとも10cm以上のスペースを確保してください。
- 金属部品などの異物が通気孔から本製品に入らないようにしてください。また、通気孔を他の物で塞がないようにしてください。
- 引っかけた場所からはがれた塗膜によって本製品に異常が発生するおそれがあるため、本製品の外装を引っかいたりしないでください。塗膜が本製品に入ると、ショートするおそれがあります。また、はがれた塗膜によって人体にアレルギー反応が発生するおそれがあります。
- 雷が発生した場合には、電源を切って、電源ケーブル、イーサネットケーブル、ネットワークケーブルなど全てのケーブルを抜いてください。
- 本製品を電子レンジ、冷蔵庫、携帯電話等、強力な磁場や磁界が発生する電子機器のそばに置かないでください。
- 部品や付属品を誤って飲み込むことがないように幼児の手の届かないところに設置してください。

図 2-45 ご利用上の注意(注意項目)

⚠ 注意

- 本製品を設置する際にはメーカーの要件を必ず守ってください。
- 本製品はレーザー製品です。保護メガネを着用せずに光ポートを直接覗きこんだりしないでください。
- 本製品を使用する環境温度については、本製品の“周囲温度”の仕様範囲内で使用してください。
- 本製品を移動する場合には、かならず電源ケーブルをコンセントからはずして移動してください。また、電源ケーブルをコンセントからはずす場合は、ケーブルをひっぱらずに電源プラグをつかんでコンセントからはずしてください。
- 本製品を長期間使用しない場合には、電源を切って電源プラグを抜いてください。
- 損傷するおそれがあるため、ケーブルを踏みつけたり、引っ張ったり、引きずったり、無理やり曲げたりしないでください。ケーブルが損傷すると、本製品が故障するおそれがあります。
- 損傷または劣化したケーブルは使用しないでください。
- 本製品を勝手に分解しないでください。本製品に異常がある場合は、サービス提供元が指定するお問い合わせ先にご連絡ください。
- 本製品を使用するにあたり、ほこりの多い場所に置かないでください。
- 本製品は清潔な状態に保ってください。本製品のほこり、よごれをふきとる場合、濡れた布ではなく乾いた布などでふきとってください。なお、本製品を清掃する前に、本製品を停止し、電源を切って、本製品から電源ケーブルやネットワークケーブルなどすべてのケーブルを抜いてください。
- クリーニング液またはスプレー式洗剤剤を使用して本製品の外装を清掃しないでください。柔らかい布を使用して清掃してください。
- 本製品をテレビ、ラジオなどの近くで使用する場合、影響を与えることがあります。
- 本製品がご不要になった際は、サービス提供元が指定するお問い合わせ先にご連絡ください。
- ネットワークケーブル、電源アダプタ、電源アダプタケーブルは屋外に設置しないでください。こうした対策をしておくことで、雷の場合に発生しやすい機器の損傷や人体への損傷を防ぐことができます。

図 2-46 ソフトウェア情報

⚠ ソフトウェア情報

本製品に関するソフトウェア情報については [こちら](#)をご参照ください。

A 頭字語および略語

ALG	Application Layer Gateway (アプリケーションレイヤゲートウェイ)
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol (動的ホスト構成プロトコル)
DMZ	Demilitarized Zone (非武装地帯)
DNS	Domain Name System (ドメインネームシステム)
DoS	Denial of Service (サービス拒否)
FTP	File Transfer Protocol (ファイル転送プロトコル)
XGS-PON	10-gigabit-capable Symmetric Passive Optical Network
LAN	Local Area Network (ローカルエリアネットワーク)
MAC	Media Access Control (メディアアクセス制御)
SSID	Service Set Identifier (サービスセット識別子)
TCP	Transmission Control Protocol (伝送制御プロトコル)
TKIP	Temporal Key Integrity Protocol (一時キー統合プロトコル)
UDP	User Datagram Protocol (ユーザーデータグラムプロトコル)
UPnP	Universal Plug and Play (ユニバーサルプラグアンドプレイ)
URL	Uniform Resource Locator (ユニフォームリソースロケータ)
WLAN	Wireless Local Area Network (無線 LAN)
WEP	Wired Equivalent Privacy (有線と同等なプライバシー)
WPA	Wi-Fi Protected Access (ワイファイプロテクトドアクセス)
WPS	Wi-Fi Protected Setup (ワイファイプロテクトドセットアップ)